

【特集：トルコの水産セクターについて】

トルコは三方を海に囲まれており、8,333 キロメートルの海岸線を有しております。その地理的特性を活かして、漁業や養殖がさかんに行われています。

水産品の輸出は顕著な成長を続けており、輸出額は過去 15 年で 10 倍増加しています。



トラウトの生産では欧州一位、スズキとタイに関しては欧州二位を誇っており、欧州市場においては、スズキとタイについて 25%のシェアを持っています。

主要品目の生産量推移（トン）

年/種類	トラウト			タイ	スズキ
	淡水	海水	合計		
2005	48,033	1,249	49,282	27,634	37,290
2006	56,026	1,633	57,659	28,463	38,408
2007	58,433	2,740	51,173	33,500	41,900
2008	65,928	2,721	68,649	31,670	49,270
2009	75,657	5,229	80,886	28,362	4,655
2010	78,165	7,079	85,244	28,157	50,796
2011	100,239	7,697	107,936	32,187	47,013
2012	111,335	3,234	114,569	30,743	65,512
2013	122,873	5,186	128,059	35,701	67,913
2014	107,983	5,610	113,593	41,873	74,653
2015	101,166	6,872	108,038	51,844	75,164
2016	101,297	5,716	107,013	58,254	80,847

トラウト、タイ、スズキの養殖において、長年の経験と確かなインフラを持っているトルコは、日本をはじめ、様々な市場ニーズに応じた商品の供給をしています。近年では、日本企業からの引き合いに応じて、トラウトの海面養殖への投資がさかんに行われています。

一方で太平洋クロマグロもトルコの水産業において重要な輸出品目の一つです。こちらも日本市場の需要を受けて、2000年以降急速に養殖がさかんになり、現在ではトルコの対日輸出製品の上位5品目に入るまでに成長しました。

日本のトルコからの魚類輸入推移（1000米ドル）

HSコード	品名、内容	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
'0303	魚（冷凍/フィレを除く）	0	829	13023	19722	9273	6728	4989	4570
'0302	魚（生鮮および冷蔵/フィレを除く）	4436	4557	15035	19656	11399	4990	3085	2528
'0304	魚のフィレ、その他の魚肉	4	172	5397	18282	40042	50813	72821	72794
		2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
'0303	魚（冷凍/フィレを除く）	7045	1085	1592	1830	1168	1225	1622	995
'0302	魚（生鮮および冷蔵/フィレを除く）	10561	4380	1174	1028	466	0	396	1508
'0304	魚のフィレ、その他の魚肉	84079	24852	53779	60646	47093	41423	51130	38427

マグロの漁獲量に関しては、ICCAT（大西洋まぐろ類保存国際委員会）において、各国の漁獲割り当てが決められていますが、2017年11月14日~22日にマラケシュで開催された年次会合において、トルコの漁獲割り当てが1021トンから1414トンにまで引き上げられました。これを受けて、トルコとしては2018年のマグロ輸出目標額を1億ドルから1億3000ドルに修正しました。

資料についてのお問い合わせ先： 駐日トルコ共和国大使館 商務部
 担当：齋藤 (03-3470-6723/i-economy@turkey.jp)